

バス停からの 小さな旅



▲霊泉寺の境内に並ぶ百仏さまと、その中で一つだけ後ろを向いている「後ろ向き観音(最前列左側)」

27

「田島町1丁目(古井駅—可児川駅線)」から
「後ろ向き観音」を訪ねる旅

◎文化の森 ☎28・1110

中富町の、河岸段丘から町を見渡せる場所にある霊泉寺。山門をくぐると白砂の庭園が広がり、本堂の向かって左手に石仏群が見えます。そのうちの一つ、最前列左で異彩を放っているのが、通称「後ろ向き観音」です。

その名の通り正面に背を向けた聖観音像で、ゴツゴツした岩肌を生かした形の光背にしがみつくような姿勢をとっています。横顔だけが見え、右裾からは膝がのぞいています。像高は60センチほどで、作風から江戸時代末頃の作と推定されています。

江戸時代後半、庶民の間では西国などの霊場巡礼が盛んに行われました。後ろ向き観音とともに立ち並ぶ観音像は99体あり、各礼所の名と戒名が刻まれます。お寺では、全て合わせて「百仏さま」と呼ばれ親しまれています。が、後ろ向き観音には銘文などは見られず、その作られた理由は定かではありません。

作者の遊び心なのか、それとも試作なのか。はたまた、その背中で何かを守り隠しているのか。全国的にも珍しいこの観音像について想像は膨らむばかりです。

【参考】市教育委員会『美濃加茂の石仏(1988年)』



▲後ろ向き観音像(左奥)



今回乗車したバス

行き・帰り…

古井駅—可児川駅線

Aコース3便

10時00分 美濃太田駅北口

10時01分 田島町1丁目

下車後、道を東に進み

突き当たりの信号を右

へ。ほどなく見える霊

泉寺に参り、「後ろ向

き観音」に出会う。

10時32分 田島町1丁目

10時34分 美濃太田駅北口